「こどもの権利」ってなんだろう？

こどもの声が、まちの未来をつくる。

11月は「こどもまんなか月間」です。こどもまんなかとは、こどもの気持ちや意見を大切にし、こどもにとって何が一番よいかを考えることです。その実現に向けて、こどもたちが安心して自分らしく生きるために、私たち大人にできることは何でしょうか。

ここでは、基本となる「4つの権利」や大人の役割、日々の暮らしや声かけで心掛けたいことを紹介します。

問こども未来課　☎21-0288











こどもたちの毎日を守る大切な約束

こどもの権利について考えるときに大切な４つの考え方があります。このどれか１つでも欠けてはいけない、こどもたちの毎日を守る大切な約束です。

1 生きる権利

すべてのこどもが、命を大切にされ、ごはんを食べ、健康に暮らすために必要なものを与えられる権利のことです。



2 育つ権利

すべてのこどもが、勉強や遊びを通じて、自分の力や可能性をすくすくと伸ばしていける権利のことです。



3 参加する権利

すべてのこどもが、自分の考えや気持ちを自由に話し、自分に関係のあることを決めるときに、意見を聞いてもらい、参加できる権利のことです。



4 守られる権利

すべてのこどもが、いじめや虐待、差別、暴力などによって傷つけられず、自分らしく成長できるように守ってもらう権利のことです。



「あのね、きいて」こどもたちのつぶやき

こどもたちが自分らしく、生き生きと輝くためには、「こどもの権利」が大切にされることが必要です。こどもたちの何気ないつぶやきには、一人ひとりの思いや願いが込められています。私たち大人は、その声に耳を傾けられているでしょうか。

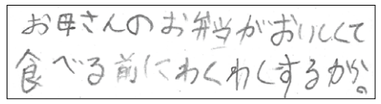
この夏休み、市内の学童保育に通う158人のこどもたちに3つの質問をしました。こどもたちの声から、一緒に考えてみましょう。



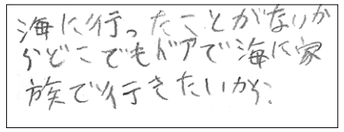


①今、一番楽しいなと思う時間ってどんなとき？



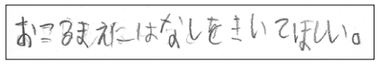


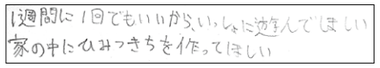
②ドラえもんのポケットから何をだしてほしい？

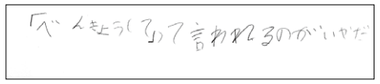




③大人に聞いてほしいこと、本当はこうしてほしいなって思うことは？







身近なこどもの声を聴いてみましょう

こどもたちは、日々の暮らしの中で、さまざまな思いや願いを抱えています。何気ない言葉の中にも、本当は大人に分かってほしい気持ちや、してほしいことが隠れているのかもしれません。

毎日の関わり方を振り返ってみましょう

「こどもの権利」を大切にすることは、特別なことばかりではありません。毎日の何気ない会話や関わり方の中にも、そのヒントがあります。こどもたちが安心して自分らしく過ごせるよう、私たち大人の関わり方を少し振り返ってみませんか。

■こどもの話を「最後まで」聴いていますか？
（「でも」「だって」と口を挟みたくなったらグッと我慢し、耳を傾けてみましょう）

■その気持ちやがんばりに、そっと共感できていますか？
（「そう感じたんだね」と感情をそのまま受け止めることで、大きな安心につながります）

■「こどもだから」と、知らず知らずのうちに決めつけていませんか？
（ルールを決める時、「どうしたい？」とこどもの思いに耳を傾けてみましょう）

■叱る前に、「どうしたの？」とその背景に目を向けていますか？
（行動だけをとがめる前に、その裏にある本当の気持ちにそっと寄り添ってみましょう）

■ホッとできる時間や場所を、一緒に楽しめていますか？
（忙しい日常の中でも、こどもが心から安心して笑顔になれる時間を一緒に守っていきたいですね）

こどもなんでも相談窓口　～こどものこと、育児のこと、なんでもご相談ください～

こどもは未来を創るかけがえのない存在です。
高梁のこどもたちが、自分らしく、心豊かに成長できるよう、みんなで温かく見守っていきましょう！

高梁市こども家庭センター　こども未来課　☎21-0288　健康づくり課　☎21-0228